

2. まちづくりに関するアンケート調査結果

(1) 調査の概要

1) 調査対象

市内にお住まいの満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人の方を対象

2) 回収率

| | |
|-----------|-------|
| 対象者数（配布数） | 1,000 |
| 有効回答数 | 430 |
| 有効回答率 | 43.0% |

| 区分 | 尾鷲北地域 | 尾鷲南地域 | 尾鷲北・南地域以外 | 無回答 | 合計 |
|-----|-------|-------|-----------|-----|-----|
| 回答数 | 296 | 65 | 65 | 4 | 430 |

3) クロス集計の地域

【尾鷲北地域】

北浦町、北浦東町、北浦西町、馬越町、宮ノ上町、座ノ下町、坂場町、坂場西町、倉ノ谷町、末広町、野地町、栄町、中井町、港町、朝日町、中村町、古戸町、古戸野町、泉町、上野町、大滝町、南陽町、中央町、林町、瀬木山町、小川東町、小川西町、新田町、光ヶ丘、大字中井浦、大字天満浦、

【尾鷲南地域】

中川、国市松泉町、矢浜一丁目、矢浜二丁目、矢浜三丁目、矢浜四丁目、桂ヶ丘、矢浜真砂、矢浜岡崎町、矢浜大道、大字向井、大字行野浦、大字大曾根浦

【尾鷲北・南地域以外】

九鬼地区、早田地区、三木浦地区、三木里地区、古江地区、賀田地区、曾根地区、梶賀地区、須賀利地区

4) 調査内容

○回答者自身のことについて

・性別 ・年齢 ・居住地 ・世帯状況 ・主な職業 ・居住年数

○居住地区での定住意向について

・定住意向 ・住み続けたいと思う理由 ・引っ越したいと思う理由

○回答者の日常の生活について

・普段の買い物場所及び交通手段 ・日用品以外の買い物場所及び交通手段
・医療施設を利用する場所及び交通手段 ・老人福祉施設を利用する場所

- 居住地区の住みやすさについて
 - ・居住地区の住みやすさ
 - ・居住地区の現状の「満足度」と今後生活する上での「重要度」
- JR尾鷲駅周辺の中心市街地について
 - ・中心市街地の整備 ・建物や土地利用の規制の必要性
- 尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画について
 - ・計画の整備による期待する波及効果
- 自由意見

(2) 調査結果

1) 居住地区での定住意向について

① 定住意向

回答者の定住意向を市全体で見ると、「今住んでいるところにずっと住み続けたい」が57.2%と最も多く、「尾鷲市内の別のところに住み続けたい」と合わせると、3分の2が市内に住み続つづけたいと回答しています。

また、地域別で見ると、「尾鷲北・尾鷲南地域以外」において「今住んでいるところにずっと住み続けたい」の割合が多くなっています。

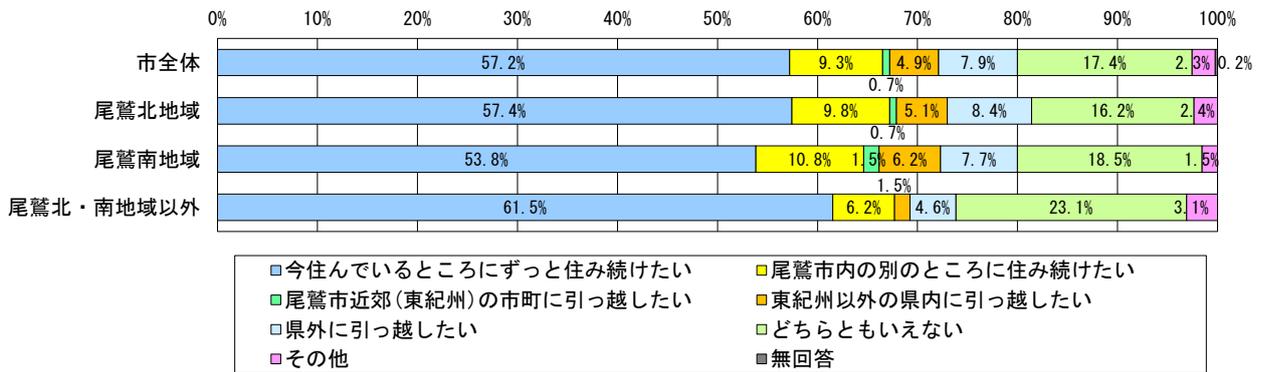


図 地域別回答者の定住意向

② 住み続けたいと思う理由

回答者の住み続けたいと思う理由を市全体で見ると、「生まれ育った町で愛着がある」が36.7%と最も多く、次いで「自然や生活環境がよい」が34.3%となっています。

また、地域別で見ると、特に「尾鷲北・南地域以外」において「生まれ育った町に愛着がある」と「自然や生活環境がよい」の占める割合が特に多くなっています。

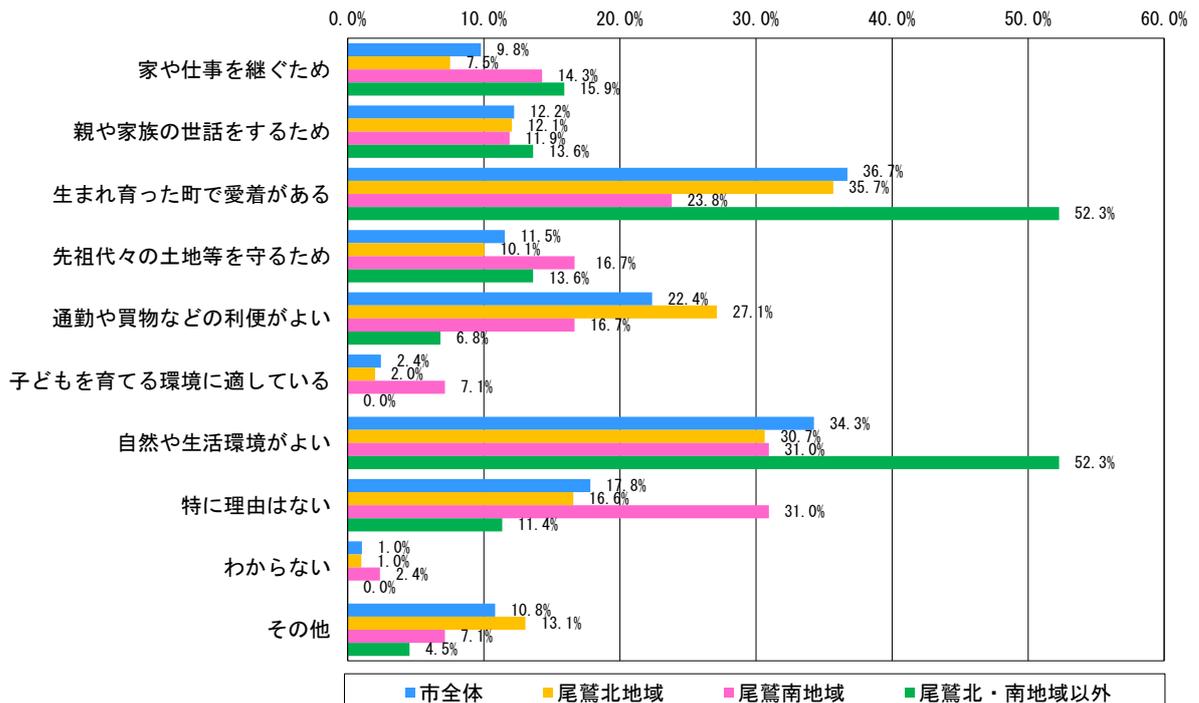


図 地域別回答者の住み続けたいと思う理由

③ 引っ越したいと思う理由

回答者の引っ越したいと思う理由を市全体で見ると、「医療機関が整っていない」が41.4%と最も多く、次いで「交通の便が良くない」が37.9%となっています。

また、地域別で見ると、「尾鷲北地域」は「交通の便が良くない」、「尾鷲南地域」は「地震や津波、大雨等の自然災害が不安」、「尾鷲北・南地域以外の地域」は「医療機関が整っていない」の割合が最も多くなっています。

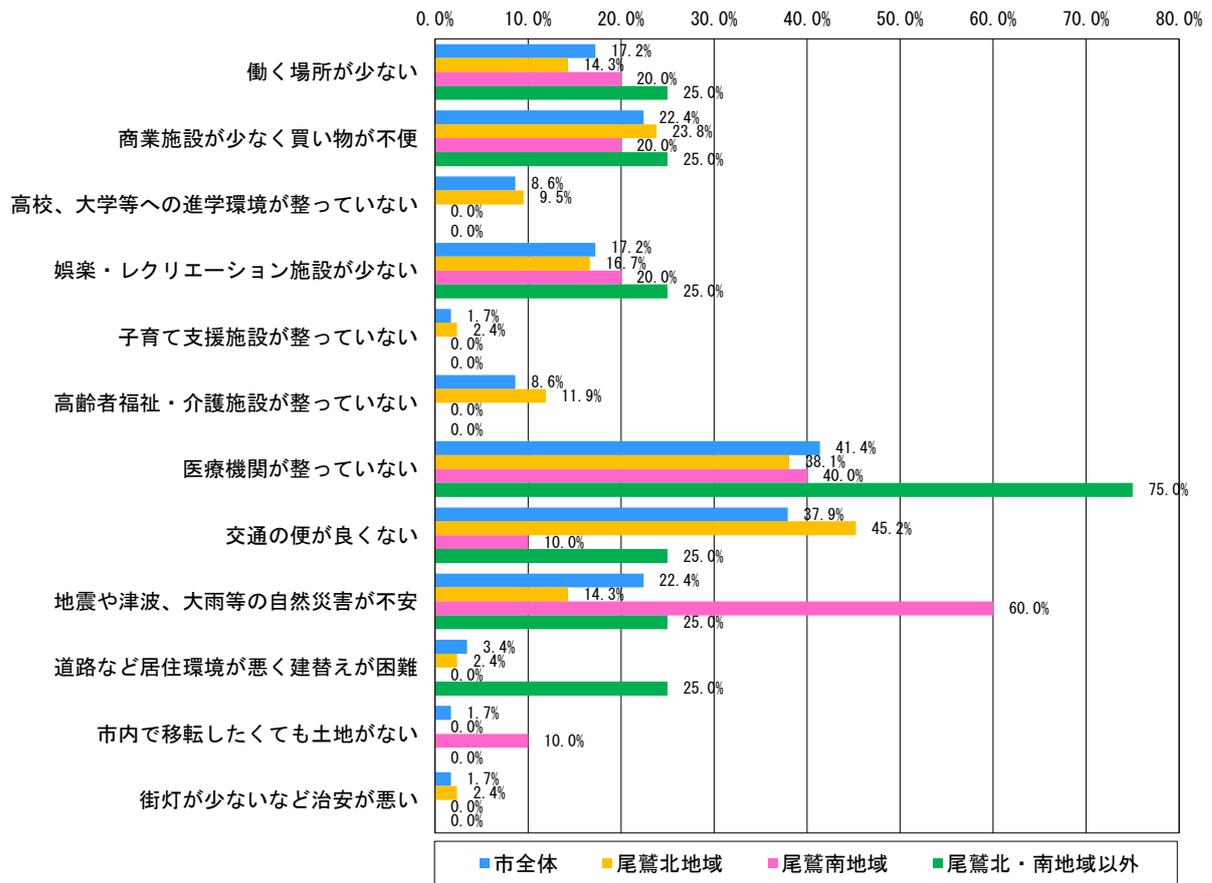


図 地域別回答者の引っ越したいと思う理由

2) 回答者の日常生活について

① 普段の買い物場所

回答者の食料品や日用品などの普段の買い物場所を見ると、3地域とも「国道42号沿いの大型店舗などのお店」の割合が最も多くなっています。

また、「尾鷲北・南地域以外」では、「住んでいる近くのお店」の割合が他地域と比べて少なくなっています。

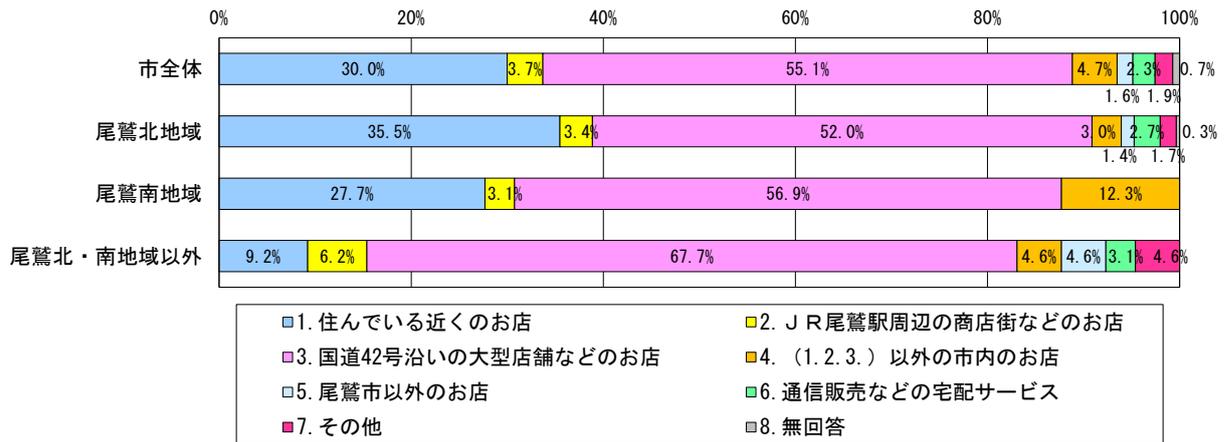


図 地域別回答者の普段の買い物場所

② 普段の買い物の交通手段

回答者の普段の買い物の交通手段を見ると、3地域とも「自分が運転する自動車」の割合が最も多くなっており、「家族など自分以外が運転する自動車」を合わせると、全体の約4分の3が自動車での移動となっています。その一方で、「路線バス・コミュニティバスなど」を利用する人は、わずかとなっています。

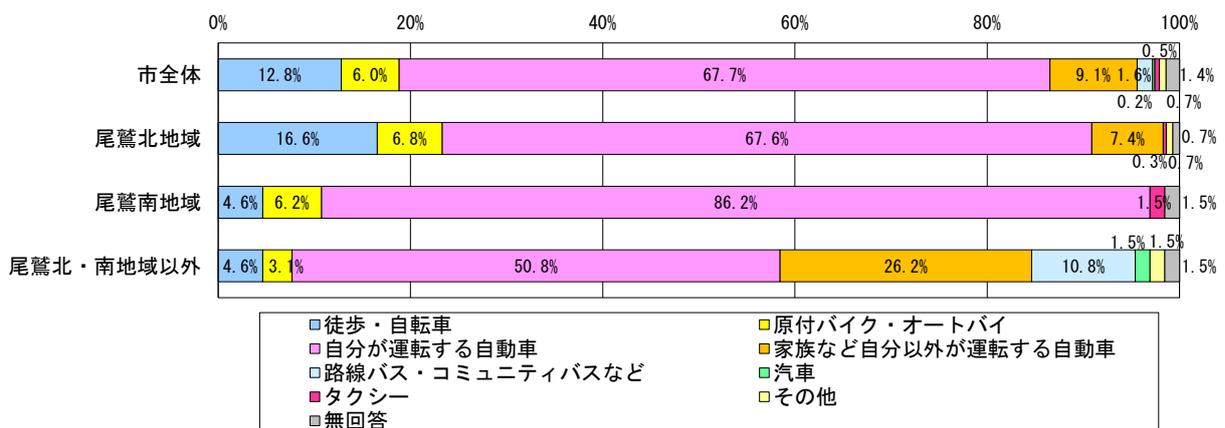


図 地域別回答者の普段の買い物の交通手段

③ 日用品以外の買い物場所

回答者の家具や電気製品などの日用品以外の買い物場所を見ると、3地域とも「国道42号沿いの大型店舗などのお店」の割合が最も多くなっており、特に、「尾鷲北・南地域以外」では75.4%とその割合が多くなっています。

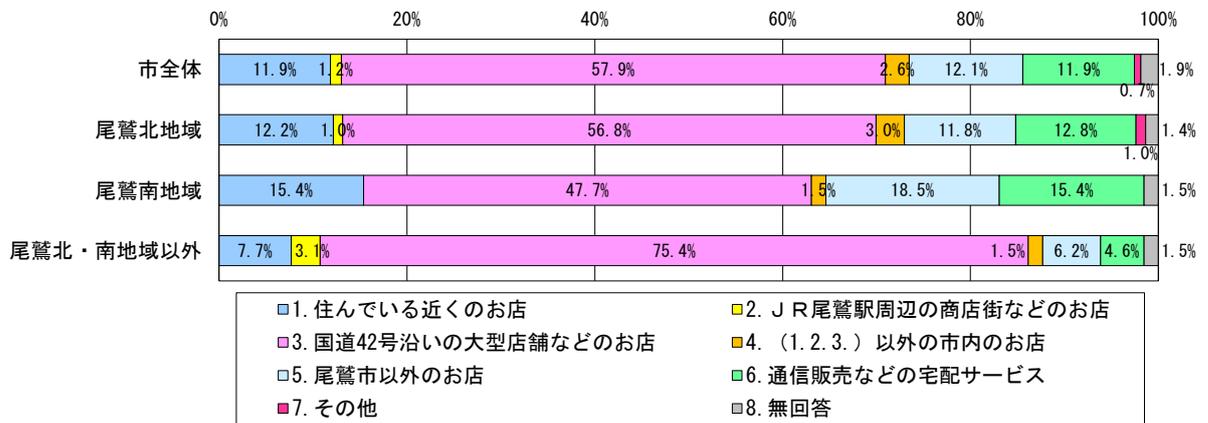


図 地域別回答者の日用品以外の買い物場所

④ 日用品以外の買い物の交通手段

回答者の日用品以外の買い物の交通手段を市全体で見ると、「自分が運転する自動車」が64.7%と最も多い割合となっており、「家族など自分以外が運転する自動車」を合わせると、全体の約4分の3が自動車での移動となっています。その一方で、「路線バス・コミュニティバスなど」を利用する人は、わずかとなっています。

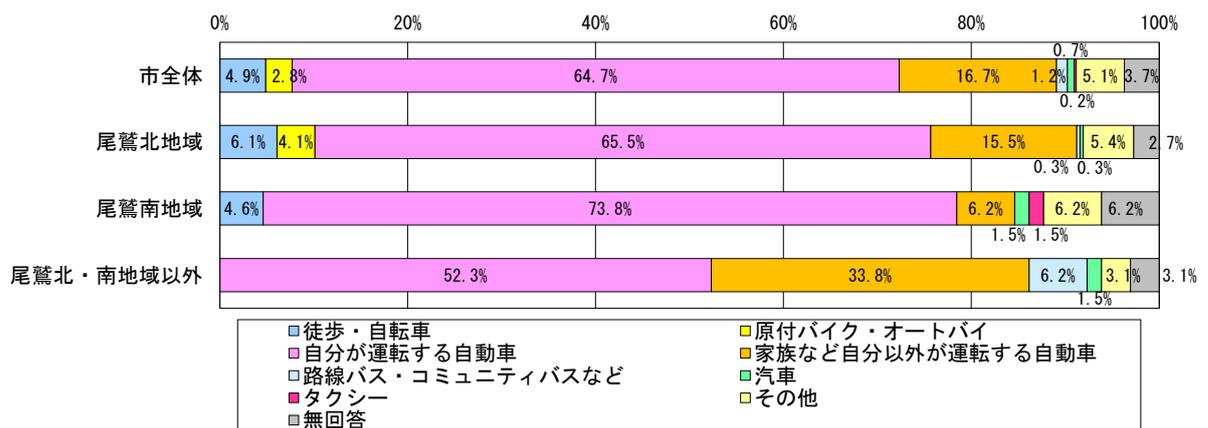


図 地域別回答者の日用品以外の買い物の交通手段

⑤ 医療施設を利用する場所

回答者の医療施設を利用する場所を市全体で見ると、「住んでいる近くの医療施設」の割合が43.0%と最も多く、次いで「尾鷲総合病院」が22.3%となっています。

また、「尾鷲北・南地域以外」では、「尾鷲総合病院」の割合が他地域と比べて多くなっています。

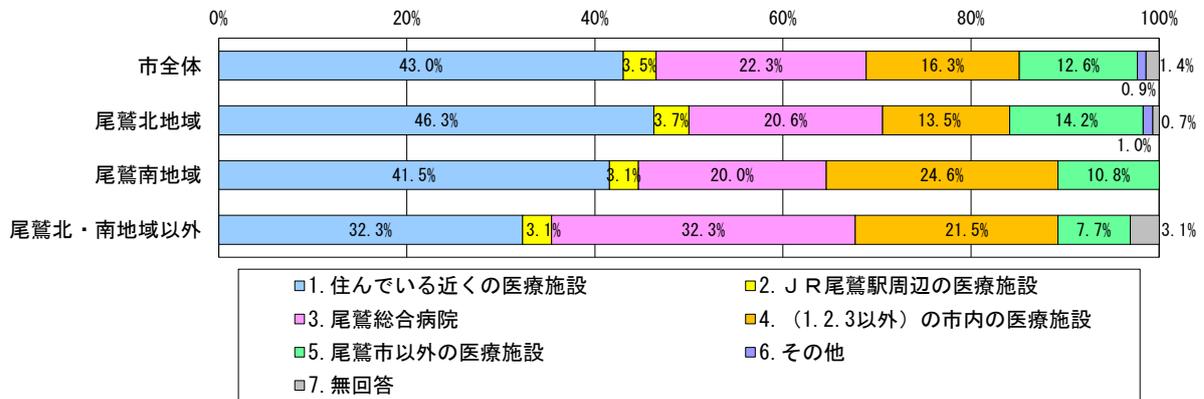


図 地域別回答者の医療施設を利用する場所

⑥ 医療施設への交通手段

回答者の医療施設への交通手段を見ると、3地域とも「自分が運転する自動車」の割合が最も多くなっており、「家族など自分以外が運転する自動車」を合わせると、全体の約4分の3が自動車での移動となっています。その一方で、「路線バス・コミュニティバスなど」を利用する人は、わずかとなっています。また、「尾鷲北・南地域以外」においては、利用する人の割合が他地域に比べて多くなっています。

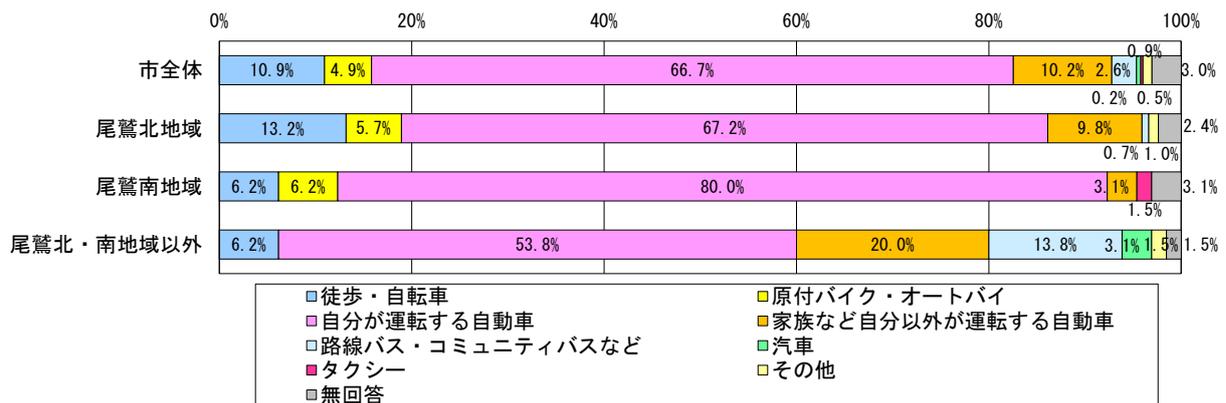


図 地域別回答者の医療施設への交通手段

⑦ 老人福祉施設を利用する場所

回答者又は家族が利用する老人福祉施設の場所を見ると、3地域とも「利用していない」の割合が最も多くなっており、利用している場合の場所は、3地域とも「住んでいる近くの施設」の割合が最も多くなっています。

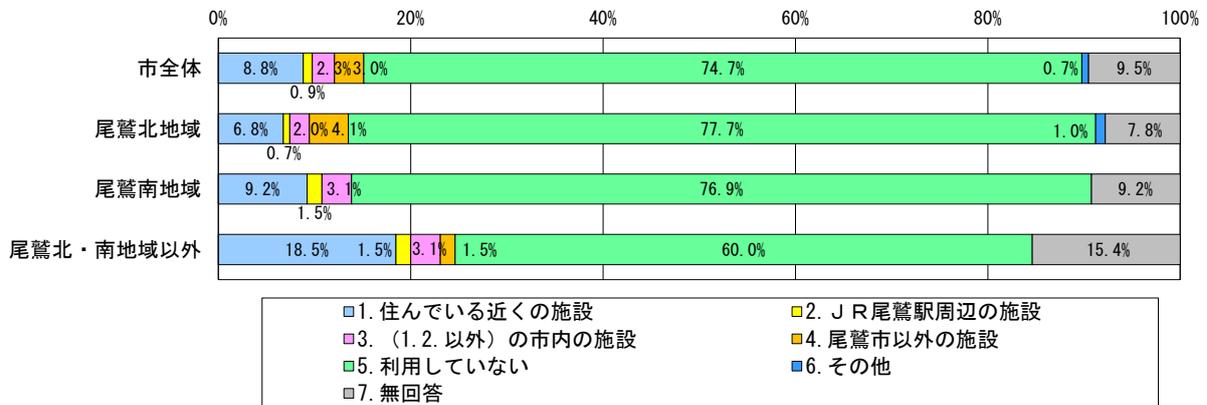


図 地域別回答者又は家族の老人福祉施設の利用場所

3) 居住地区の住みやすさについて

① 居住地の住みやすさ

回答者が思う、現在住んでいる地区の住みやすさの状況を、市全体で見ると、「住みやすい」の割合が50.2%で、「住みにくい」の8.8%を大きく上回っています。

また、地域別で見ると、「尾鷲北・南地域以外」は、「住みやすい」の割合が32.3%で他地域と比べて少なくなっています。

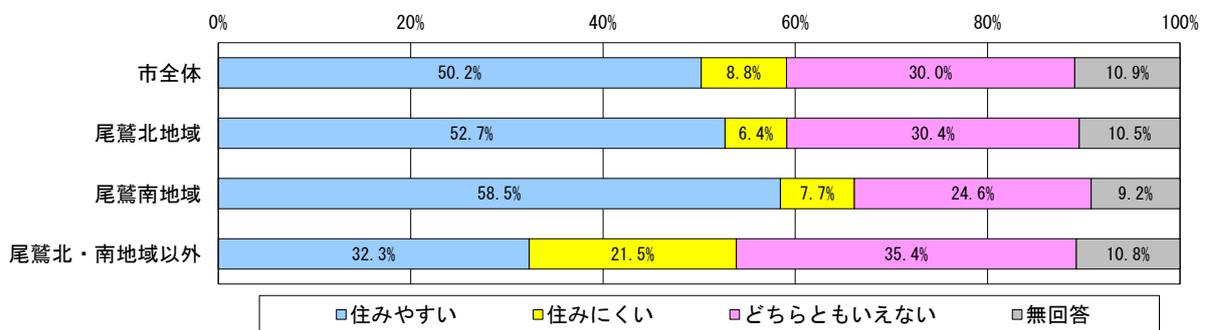
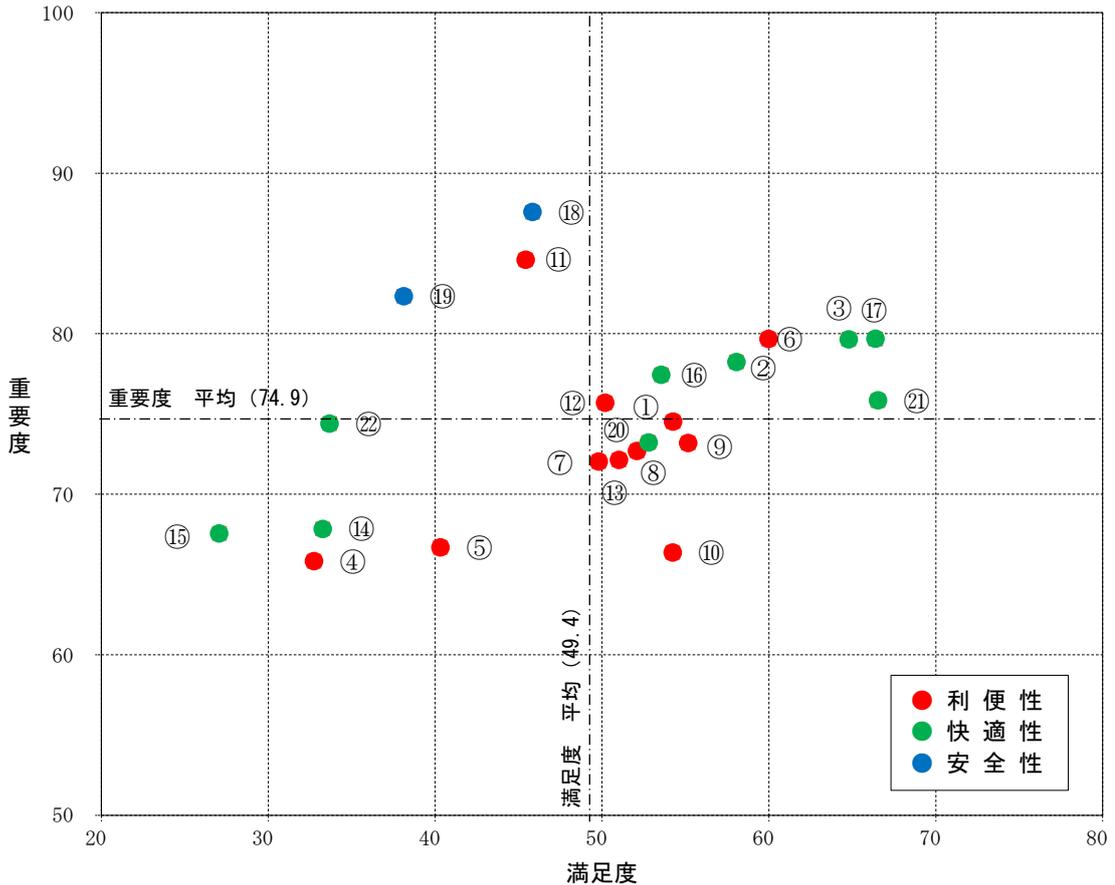


図 地域別回答者の居住地区の住みやすさ

② 居住地区の現状の「満足度」、今後生活する上での「重要度」

「市全体」の回答者の、地区の満足度と重要度について、利便性、快適性、安全性に区分し評価すると、満足度が低く重要度が高いのは、利便性は「⑪ 病院等の医療の利便性」、快適性では「⑫ 空き家・空き地の管理の状況」、そして安全性では「⑬ 震災や津波、台風等への防災対策」「⑭ 街灯や防犯カメラの設置など防犯対策」となっています。



| | |
|--------------------------|---------------------------|
| ① 徒歩・自転車での移動が快適な道路の充実 | ⑫ 高齢者福祉・介護施設の利便性 |
| ② 自動車での移動が快適な地区内の道路の充実 | ⑬ 保育所等の子育て支援施設の利便性 |
| ③ 他の地区や市外へ移動する道路の充実 | ⑭ 歩いて行ける身近な公園の充実 |
| ④ 鉄道の利便性 | ⑮ スポーツ・レクリエーションで利用する大きな公園 |
| ⑤ 路線バス・コミュニティバス等の利便性 | ⑯ 汚水や生活排水の処理の状況 |
| ⑥ 食料品や日用品の買い物の利便性 | ⑰ 上水道・簡易水道の整備状況 |
| ⑦ 家電製品等の日用品以外の買い物の利便性 | ⑱ 震災や津波、台風等への防災対策 |
| ⑧ 通勤・通学の利便性 | ⑲ 街灯や防犯カメラの設置など防犯対策 |
| ⑨ 市役所・センター・公民館等の公共施設の利便性 | ⑳ まち並みや自然の景観 |
| ⑩ 図書館・ホール等の文化施設の利便性 | ㉑ 工場等の騒音・公害のない良好な環境 |
| ⑪ 病院等の医療の利便性 | ㉒ 空き家・空き地の管理の状況 |

図 市全体の居住地区の「満足度」「重要度」

4) J R尾鷲駅周辺の中心市街地について

① 中心市街地の整備

回答者が必要と思う、J R尾鷲駅周辺の中心市街地の整備について見ると、「地震や津波、台風などの災害に対する防災施設の整備」が20.9%と最も多く、次いで「既存商店街の活性化」が19.5%となっています。

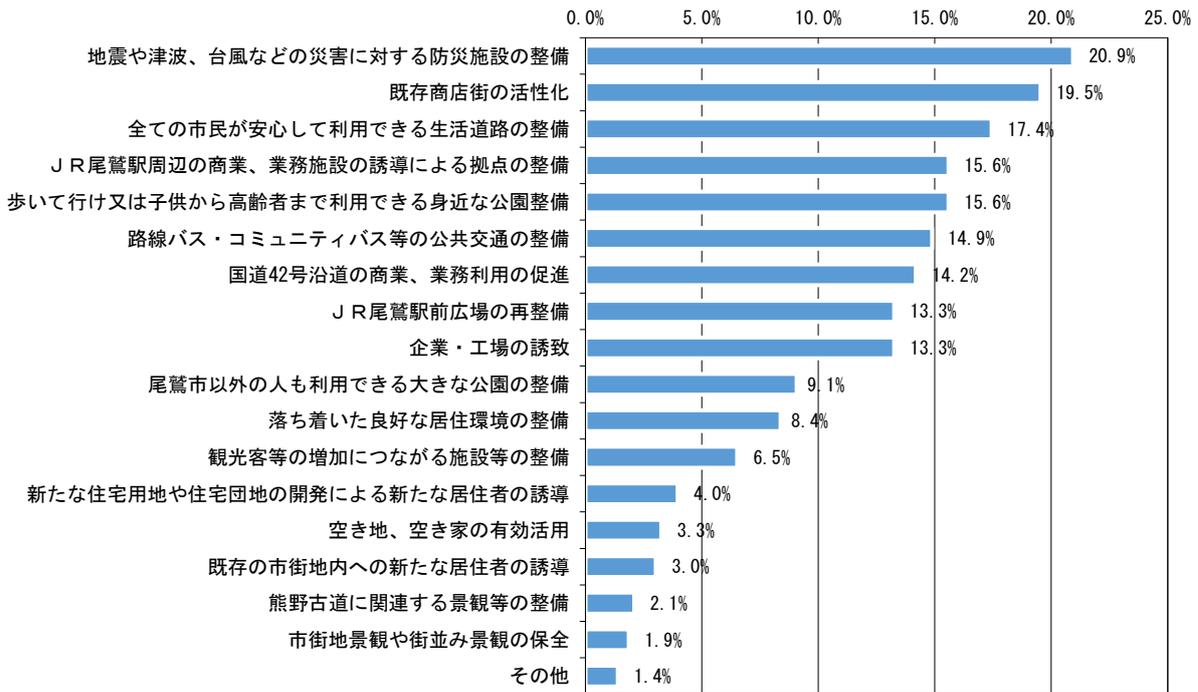


図 回答者が必要と思う中心市街地の整備

② 建物や土地利用の規制の必要性

回答者が思う、建物や土地利用の規制の必要性を地域別で見ると、3地域とも「ある程度は必要だと思う」が最も多くなっています。「必要ないと思う」とあわせると9割近くの回答者が規制は必要だと思っています。

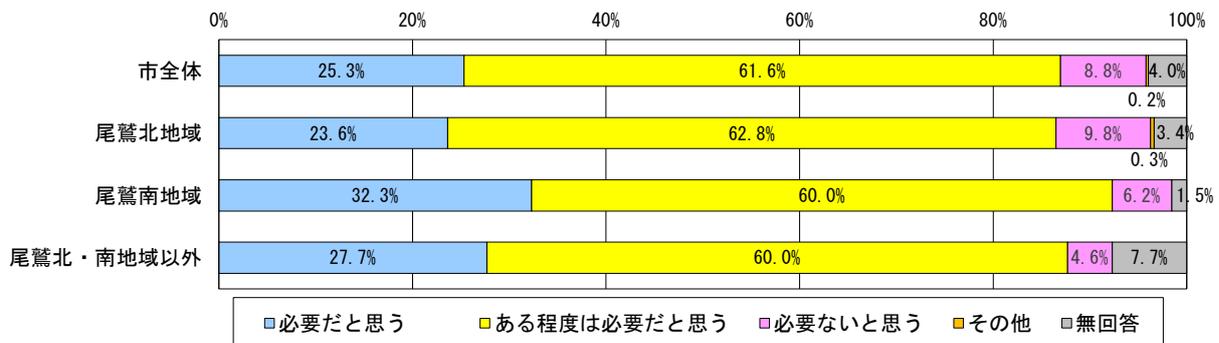


図 地域別建物や土地利用の規制の必要性

5) 尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画について

① 跡地の整備により期待する波及効果

回答者が期待する尾鷲三田火力発電所の跡地利用計画による波及効果について見ると、「働く場の創出」が57.2%と最も多く、次いで「新たな企業の進出」が36.0%となっており、働く場所の増加が期待されています。

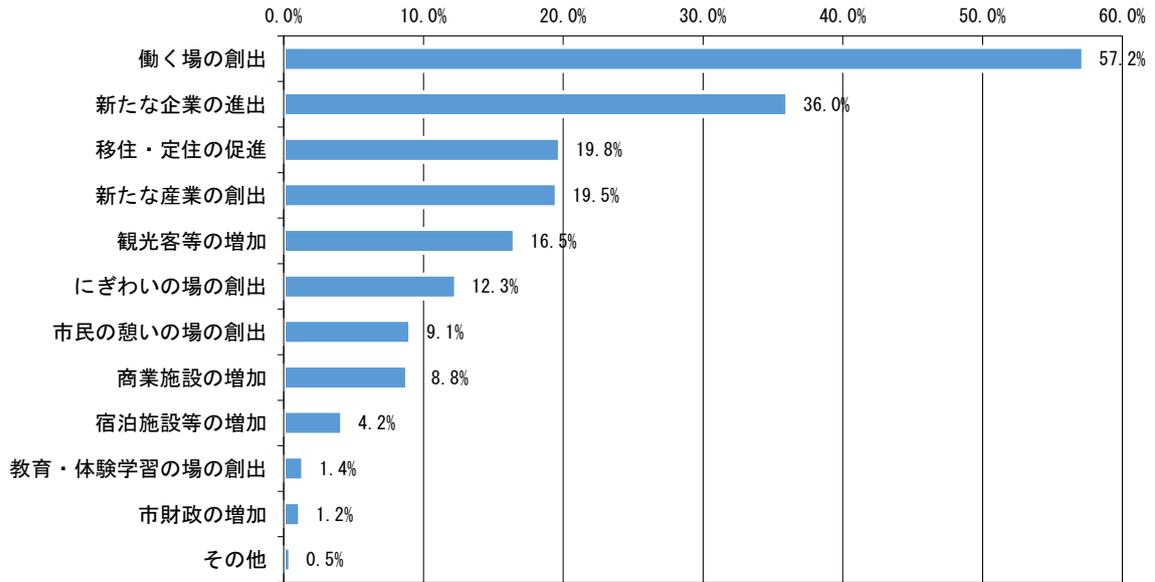


図 回答者が期待する跡地計画による波及効果